FULL HEIGHT DOOR®

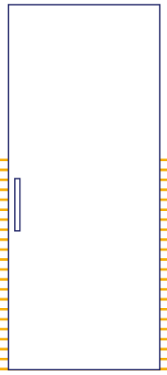
INSET MODE インセット枠

フルハイトドア

施工手順書

片引き戸　【上吊タイプ】

片引き戸
上吊タイプ



kamiya
ともに、生きる

作成：2013年6月1日
改訂：2017年1月11日

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。

○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

Ikamiya
Full Height Door

□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

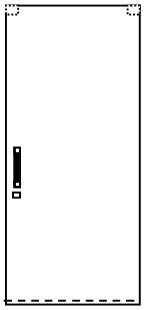
■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

※はフルハイトカロ引戸の場合のみになります。

建具

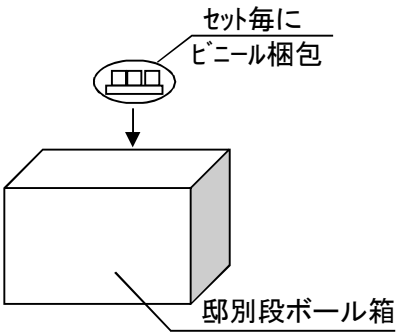
部材	数量	備考
引き戸	1枚	引手取付済み 固定カップ取付済み 鎌錠の場合は カセットのみ取付済



同梱品

※建具金物箱

部材	数量	備考
金物箱	10セットに付1箱	

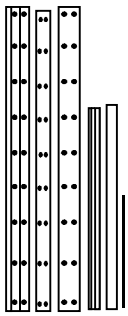


同梱品

※下ローラー	※打込みスペーサー	鎌錠	
1ケ	1ケ	※鎌錠付の場合のみ1セット	

下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	1本	
中方立下地	1本	
片方立下地	1本	
上枠下地	1本	
開口定規	1本	
見切縁	1本	ラフカット



同梱品

施工手順書

□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

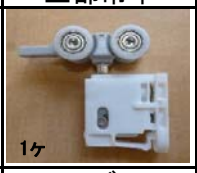
■ 製品及び同梱内容の確認

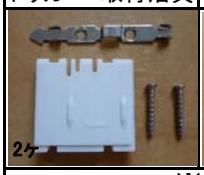
● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

インセット枠

部材	数量	備考
縦枠	1本	錠付の場合のみ鎌錠受取付済み

同梱品

引戸レール	上部吊車	上部吊車(両側スライダー付)
1本(付属ビス含む)	 1ケ	1ケ

トリガー・取付治具	MSビス	ビスキャップ
 2ケ	1セット	1セット

MSビス	
H21	5本
H24	5本
H26	6本

ビスキャップ	
H21	5ケ
H24	5ケ
H26	6ケ

※下部部品はタイプにより異なります

上吊	カロの場合	壁付ガイドの場合
床付ガイド	下レール	壁付ガイド
1ケ(ビス3本付)	1本(付属ビス含む)	1ケ(ビス4本付)

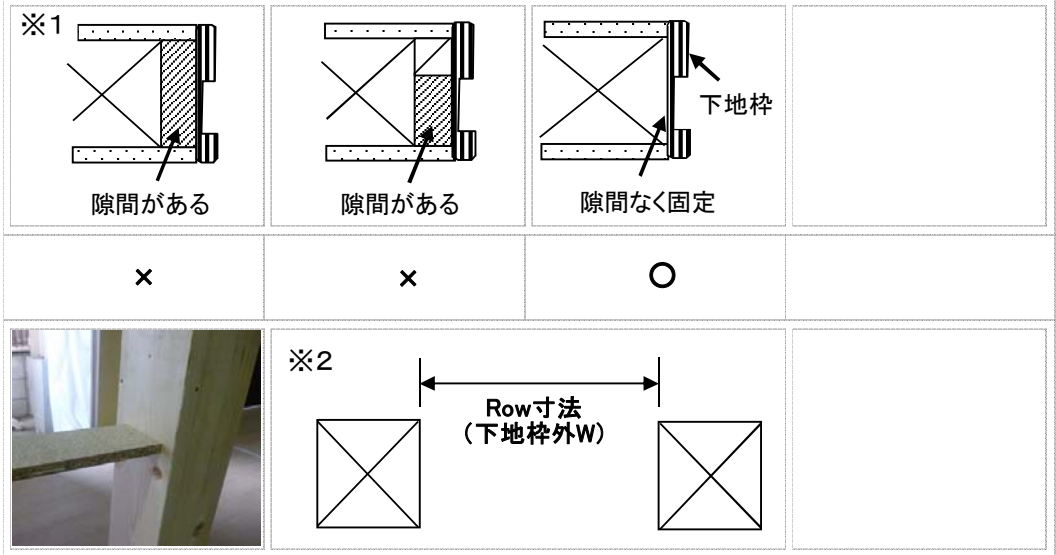
□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

1 施工前の確認事項

① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

注意

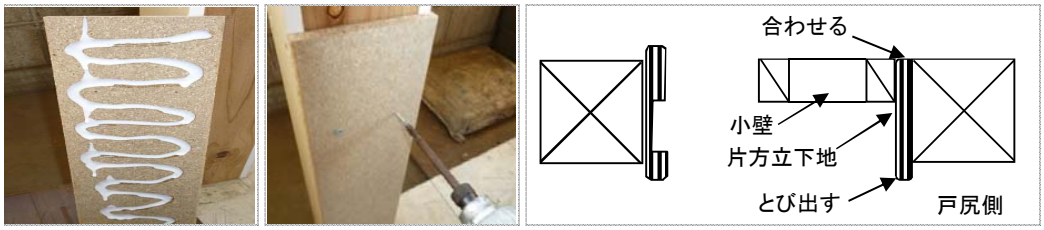
※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地・片方立下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（下地断面の狭い方が戸袋側で、壁厚の真ん中に取り付けてください）

下地裏面に接着剤全面塗布　下地表よりビス固定　ビス固定の方法　断面の狭い方が戸袋側

② 片方立下地を接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にて躯体に固定します。(小壁側の壁面と下地材を合せます)



下地裏面に接着剤全面塗布　下地表よりビス固定　片方立下地の取り付け位置

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

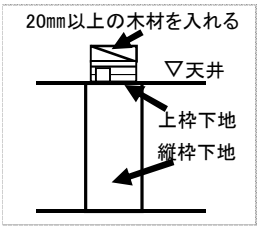
3 上枠下地の取り付け

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
その際に、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

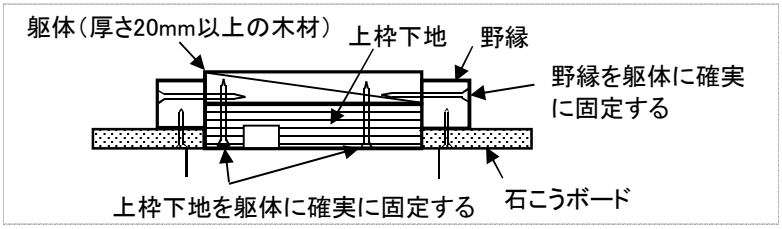
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

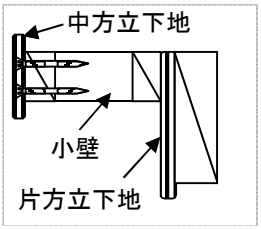
注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

4 中方立下地の取り付け方

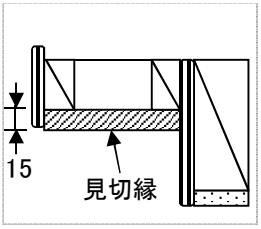
① 戸袋部分に小壁を立て、中方立下地を小壁に接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にて固定します。(中方立下地は床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです)

下地裏面に接着剤全面塗布

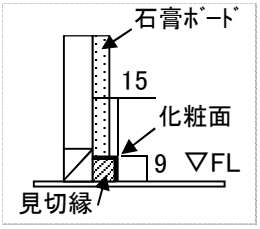


小壁を立てて
中方立下地の取り付け

② 戸袋側の小壁に沿わせて、見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用にて取り付けます。見切縁の15㎜の面に石膏ボードを載せてください。(石膏ボードは12.5㎜の設定なので、2.5㎜のチリが出ます)



見切縁の取り付け



見切縁の位置

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

5 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)

接着剤全面塗布

巾木の取り付け方

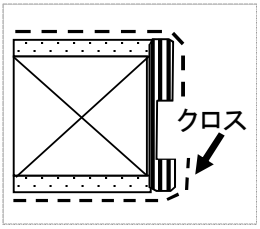
巾木の取り付け方
×

巾木の取り付け方
○

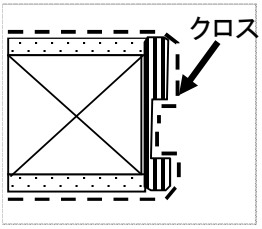
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします）
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。

6 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
（ＭＳビス）

手動ドライバーで完全に固定

注意

※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

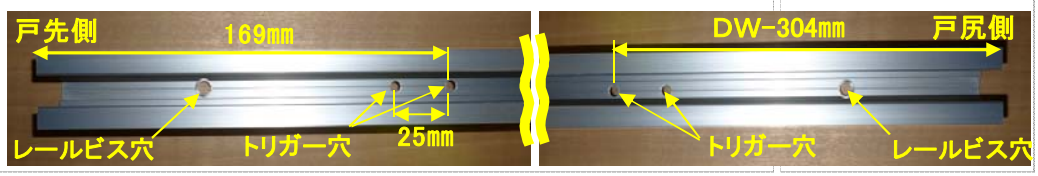
□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

7 引戸レールの取り付け

① 引戸レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります。
レールは別途梱包にあります。



レールの戸先側の向き確認

② 上部吊車をレール内部に入れてください。(上部吊車(ｽﾗｲﾀﾞｰ付)が戸先側、上部吊車のみが戸尻側)
付属のレール取付ビスで、レールを固定してください。

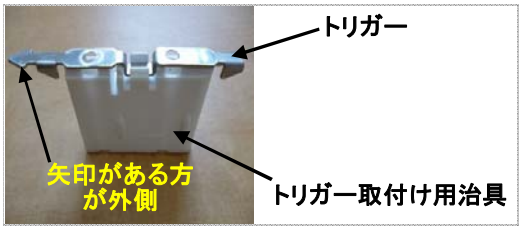
吊り車をレールに入れる

注意

※戸尻側の吊り車の向きに注意してください。(突起がある方が内側)
※トリガー取付穴には、レールビスを固定しないでください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

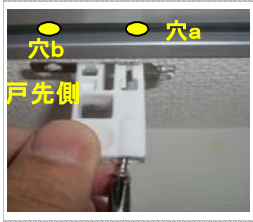
8 トリガーの取り付け

① トリガーを取り付ける前に、トリガーを取り付け用治具にセットします。（矢印がある方が戸先・戸尻側共、外側に向きます）
金物は別途梱包にあります。

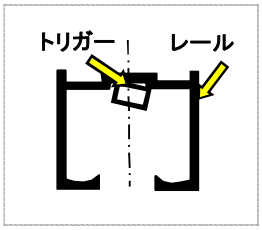


トリガーをトリガー取り付け治具にセット

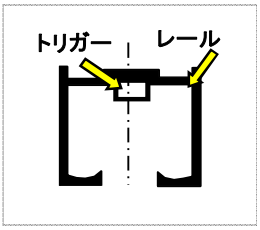
② レール取り付け後、レール部の穴aとトリガーの穴aを合せて取り付けます。(その際に戸先側と戸尻側を間違わない様に取り付けてください)
穴aを完全に固定したら取り付け治具を引き抜き、穴bをビス止めします。



トリガーの穴を合わせる



トリガー取り付け方
✕（斜め）



トリガー取り付け方
○

注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーで固定してください。

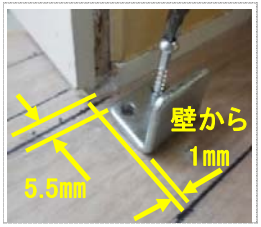
□片引き戸(上吊)

forインセット枠

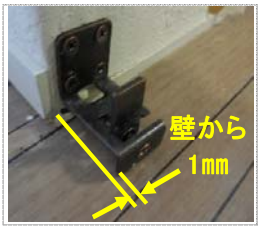
施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

9 ガイドの取り付け・下レールの取り付け（フルハイトカロ引戸の場合）

① 各納まりに応じたガイドを取り付けます。
金物は別途金物箱にあります。

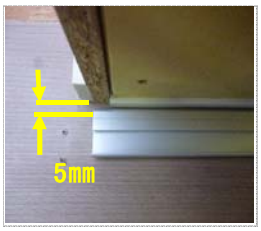


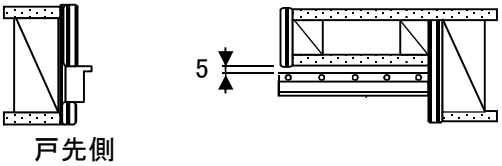
床付ガイドの取り付け



壁付ガイドの取り付け

② フルハイトカロの場合は下レールを床に取り付けます。
(小壁から5㎜離し、中方立見付け面に合わせた所に取り付けてください)





フルハイトカロの場合：下レールの取り付け

注意

※床付ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。
※下レール取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで行ってください。

10-1 建具の吊り込み（フルハイトカロ引戸の場合は10-２参照）

① ガイドに、建具下のガイド溝から建具を差し込みます。

床付ガイドを
建具溝に差し込む

壁付ガイドに
建具溝を差し込む

② 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップと、レール内にある上部吊車を連結し吊り込み完了です。

固定カップと
上部吊り車を連結する

パチンの音を確認

注意

※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等の工具を使用し取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、吊車が破損する可能性があるので注意してください。

□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

10-2 建具の吊り込み（フルハイトカロ引戸の場合）

① 建具戸尻側の下端に、打込みスペーサーを使って下ローラーを取り付けます。（下ローラー・打込みスペーサー共、建具金物箱に同梱）
その後、下レールに下ローラーをはめ込みます。

戸尻側に下
ローラーを取り付ける

下レールに下ローラーをはめ込む

② 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップと、レール内にある上部吊車を連結し吊り込み完了です。

固定カップと
上部吊り車を連結する

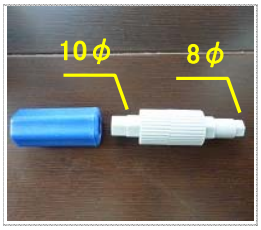
パチンの音を確認

注意

※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等の工具を使用し取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると吊車が破損する可能性があるので注意してください。

11 ＭＳ金物の調整

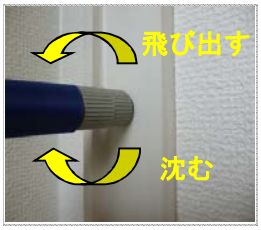
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



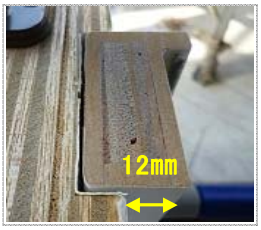
六角レンチ

ロック解除（8φ）

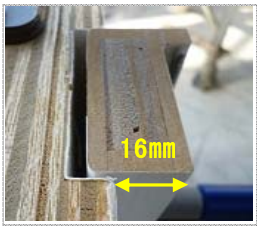
② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14㎜の設定ですので、12～16㎜の範囲で調整してください。(16㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)
調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。



左右の調整（10φ）
（±2㎜）



引っ込めた状態
（見付12㎜）



飛び出した状態
（見付16㎜）

ロック（8φ）

注意

※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。
（ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります）

□片引き戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

12 上部吊車・鎌錠受けでの調整・ビスキャップの取り付け

①	吊り込み後に上部吊車にて調整をする際は、上下調整は下側のネジ、前後調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。			【調整範囲】 上下方向±3.0㎜ 前後方向±2.0㎜
		上部吊車 上下の調整	上部吊車 前後の調整	
②	鎌錠受けにて調整する場合、上下調整は上下の固定ビスを緩めて、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。前後の調整は、内側にあるビスをまわして調整を行ってください。最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。			
		上下の調整	前後の調整	ビスキャップの取り付け
注意	**※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。** **※ソフトクローズ機構の調整はできません。**			

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】　forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

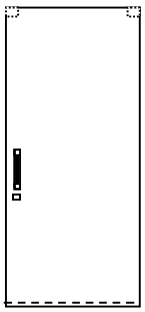
■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

※はフルハイトカロ引戸の場合のみになります。

建具

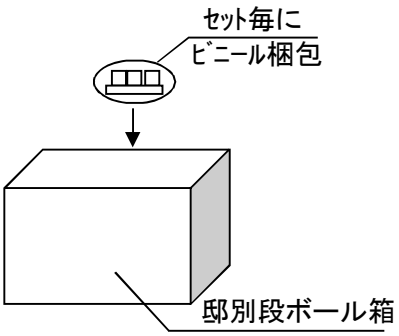
部材	数量	備考
引き戸	1枚	引手取付済み 固定カップ取付済み 鎌錠の場合は カセットのみ取付済



同梱品

※建具金物箱

部材	数量	備考
金物箱	10セットに付1箱	

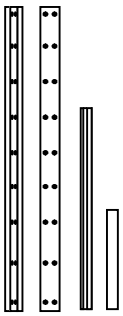


同梱品

※下ローラー	※打込みスペーサー	鎌錠	
1ケ	1ケ	※鎌錠付の場合のみ1セット	

下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	1本	
中方立下地	1本	
上枠下地	1本	
開口定規	1本	



同梱品

施工手順書			

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

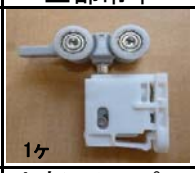
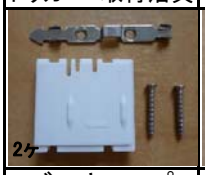
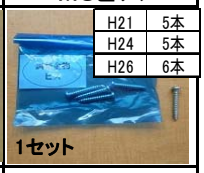
■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

インセット枠

部材	数量	備考
縦枠	1本	錠付の場合のみ鎌錠受取付済み

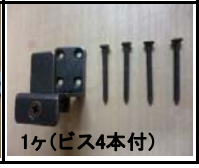
同梱品

引戸レール	上部吊車	上部吊車(両側スライダー付)	
1本(付属ビス含む)	 1ケ	1ケ	
トリガー・取付治具	上部ストッパー	下部戸当り	MSビス
 2ケ	1ケ	1ケ	 1セット
ビスキャップ			
1セット			

H21	5本
H24	5本
H26	6本

H21	5ケ
H24	5ケ
H26	6ケ

※下部部品はタイプにより異なります

上吊	カロの場合	壁付ガイドの場合	
床付ガイド	下レール	壁付ガイド	
1ケ(ビス3本付)	1本(付属ビス含む)	 1ケ(ビス4本付)	

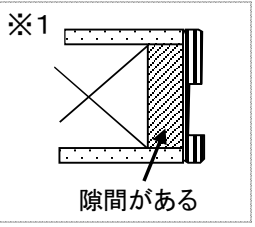
□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

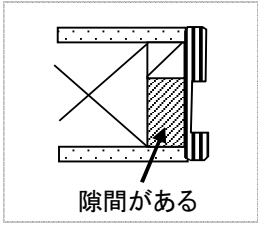
forインセット枠

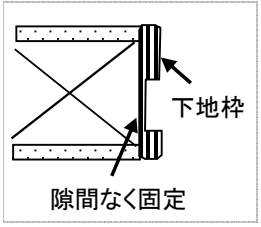
施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

1 施工前の確認事項

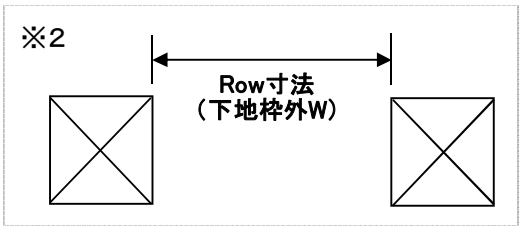
① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）







× × ○



下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

注意

※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（下地断面の狭い方が戸袋側で、戸袋側の壁仕上げ面と縦枠下地をそろえてください）
また、壁厚に対して下地枠が足りない部分は、石膏ボードを貼ってください。

下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

ビス固定の方法
×

ビス固定の方法
○

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

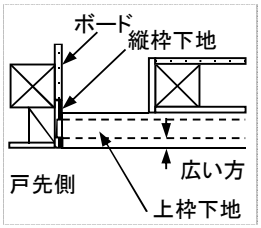
施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

3 上枠下地の取り付け

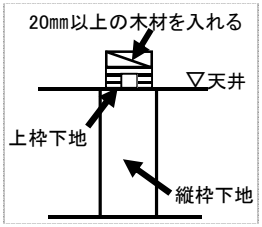
① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。その際、戸袋側の縦枠下地面と上枠下地の面をそろえて取り付けてください。（縦勝ちに納まります）
上枠下地の裏側には、20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

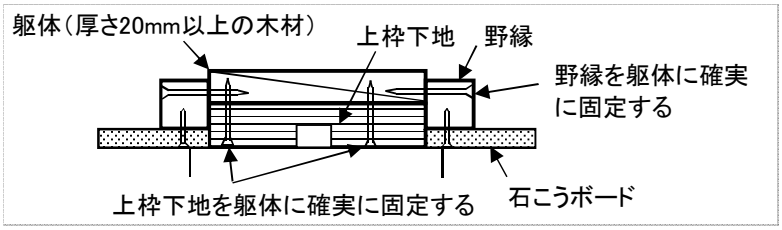


上枠下地の取り付け位置



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



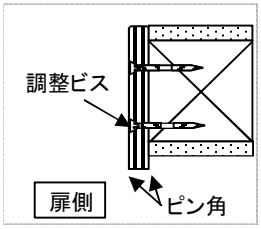
石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

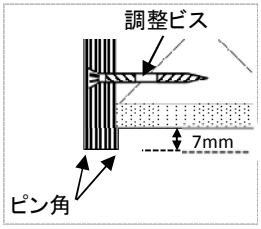
※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

4 中方立下地の取り付け

① 中方立下地を柱に固定します。（ピン角側が扉側）
枠の位置は壁に対して7㎜のチリが出ますので、扉側に7㎜出した所におき、レーザー等で立ちを見ながら同梱の調整ビスにて枠を固定してください。



調整ビスにより枠を固定



壁厚より7㎜チリが出る

注意

※中方立下地材は扉側がピン角になるように取り付けを行ってください。

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

5 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)

接着剤全面塗布

巾木の取り付け方

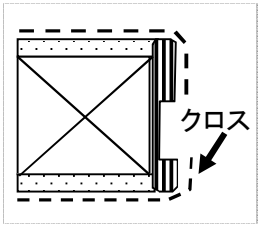
巾木の取り付け方
×

巾木の取り付け方
○

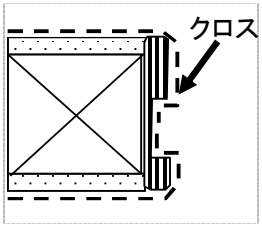
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします）
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。

6 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
（ＭＳビス）

手動ドライバーで完全に固定

注意

※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

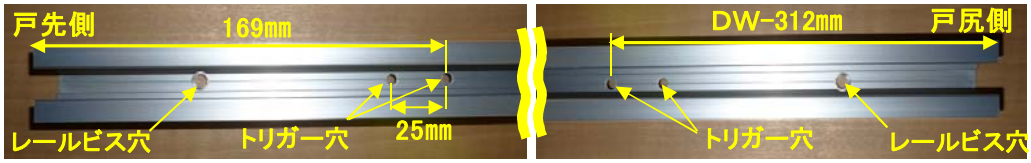
□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

7 引戸レールの取り付け

① 引戸レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズの為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)
レールは別途梱包にあります。



レールの戸先側の向き確認

② 上部吊車をレール内部に入れてください。(上部吊車(ｽﾗｲﾀﾞｰ付)が戸先側、上部吊車のみが戸尻側)
付属のレール取付ビスで、レールを固定してください。

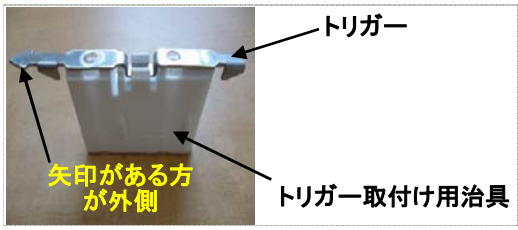
吊り車をレールに入れる

注意

※戸尻側の吊り車の向きに注意してください。(突起がある方が内側)
※トリガー取付穴には、レールビスを固定しないでください。
※上部ストッパーを戸尻側に入れるのを忘れないでください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

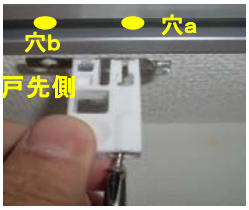
8 トリガーの取り付け

① トリガーを取り付ける前に、トリガーを取り付け用治具にセットします。（矢印がある方が戸先・戸尻側共、外側に向きます）
金物は別途梱包にあります。

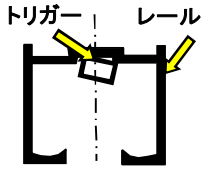


トリガーをトリガー取り付け治具にセット

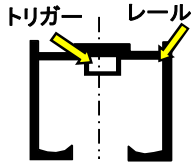
② レール取り付け後、レール部の穴aとトリガーの穴aを合せて取り付けます。(その際に戸先側と戸尻側を間違わない様に取り付けてください)
穴aを完全に固定したら、取り付け治具を引き抜き、穴bをビス止めします。



トリガーの穴を合わせる



トリガー取り付け方
✕（斜め）



トリガー取り付け方
○

注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーで固定してください。

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

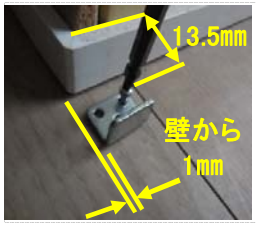
9-1 上部ストッパー・床付ガイドの取り付け（フルハイトカロ引戸の場合は9-2参照）

① 戸尻側の上部ストッパーを固定します。(レールの端部ぎりぎりに寄せて固定してください)

上部ストッパーの取付位置

締め付けは
手動ドライバーで行う

② 各納まりに応じたガイドを取り付けます。
壁付ガイドの場合は、ガイドと壁の隙間にかい木（現場調達）を入れてください。
金物は別途金物箱にあります。



床付ガイドの取り付け

壁付ガイドの取り付け
隙間にかい木を入れてください

注意

※床付ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。

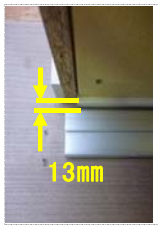
9-2 上部ストッパー・下レール・下部戸当りの取り付け（フルハイトカロ引戸の場合）

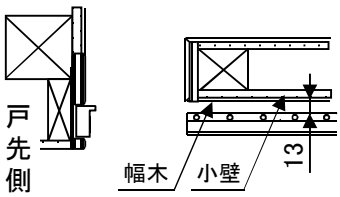
① 戸尻側の上部ストッパーを固定します。(レール端部ぎりぎりに寄せて固定してください)

上部ストッパーの取付位置

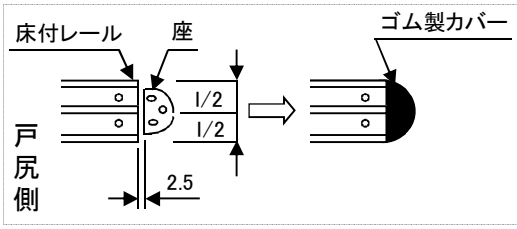
締め付けは
手動ドライバーで行う

② 下レールを床に取り付けます。
(壁から13㎜離し、壁見付け面に合わせた所に取り付けてください)
その後、下部戸当りを戸尻側に取り付けます。（下レールの端部から2.5mm離し、見込み方向の真ん中に取り付けてください）





下レールの取り付け



下部戸当りの取り付け

注意

※下レール取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで行ってください。

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

10-1 建具の吊り込み（フルハイトカロ引戸の場合は10-2参照）

① ガイドに、建具下のガイド溝から建具を差し込みます。

床付ガイドを
建具溝に差し込む

壁付ガイドに
建具溝を差し込む

② 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップと、レール内にある上部吊車を連結し吊り込み完了です。

固定カップと
上部吊り車を連結する

パチンの音を確認

注意

※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等の工具を使用し取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、吊車が破損する可能性があるので注意してください。

10-2 建具の吊り込み（フルハイトカロ引戸の場合）

① 建具の戸尻側の下端に、打込みスペーサーを使って下ローラーを取り付けます。（下ローラー・打込みスペーサー共、建具金物箱に同梱）
その後、下レールに下ローラーをはめ込みます。

戸尻側に
下ローラーを取り付ける

下レールに下ローラーをはめ込む

② 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップと、レール内にある上部吊車を連結し吊り込み完了です。

固定カップと
上部吊り車を連結する

パチンの音を確認

注意

※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等の工具を使用し取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると吊車が破損する可能性があるので注意してください。

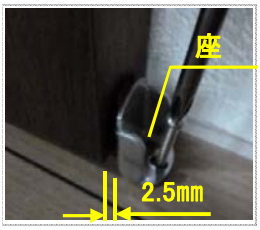
□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

11 下部戸当りの取り付け

① 扉を戸尻側に寄せて扉の下部に戸当りを取り付けてください。（扉の端部から2.5㎜離し、見込み方向の真ん中に取り付けてください）
金物は別途梱包にあります。



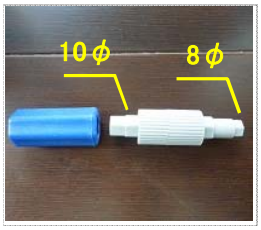
座の取り付け

カバーをつける

注意

12 ＭＳ金物の調整

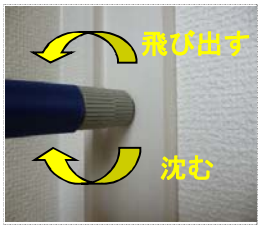
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



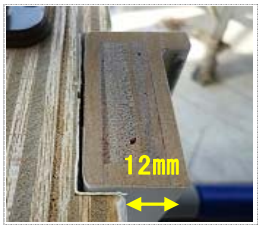
六角レンチ

ロック解除（8φ）

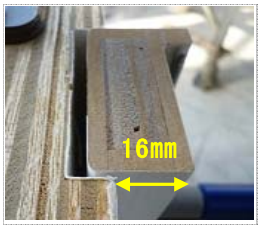
② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14㎜の設定ですので、12～16㎜の範囲で調整してください。(16㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)
調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。



左右の調整（10φ）
(±2㎜)



引っ込めた状態
(見付12㎜)



飛び出した状態
(見付16㎜)

ロック（8φ）

注意

※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。
(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)

□アウトセット片引き戸(上吊)【エンド枠付タイプ】

forインセット枠

施工手順書2013/6更新
改訂2017/1

13 上部吊車・鎌錠受けでの調整・ビスキャップの取り付け

①	吊り込み後に上部吊車にて調整をする際は、上下調整は下側のネジ、前後調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。			【調整範囲】 上下方向±3.0㎜ 前後方向±2.0㎜
		上部吊車 上下の調整	上部吊車 前後の調整	
②	鎌錠受けにて調整する場合、上下調整は、上下の固定ビスを緩めて鎌錠受けを手で上下に動かしてください。前後の調整は、内側にあるビスをまわして調整を行ってください。最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。			
		上下の調整	前後の調整	ビスキャップの取り付け

注意	**※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。** **※ソフトクローズ機構の調整はできません。**